

あ な た と 市 政 を む す ぶ



# 観音寺市合併20周年記念式典

未来もずっと、この街で。



広報  
No.245

かんおんじ

3

March

2026 / 令和8年



観音寺市合併20周年記念式典を開催

「未来もずっと、この街で。」 思い一つに

わたしたちも20歳!  
令和8年はたちの集いの  
写真は7ページから!







観音寺市名誉市民 白川 晴司 / しらかわ せいじ

1945（昭和20）年観音寺町生まれ。観音寺第一高等学校、学習院大学法学部卒業後、国会議員秘書、県議会議員を経て、1995年に旧観音寺市長に就任。2005年11月に1市2町の合併で誕生した新観音寺市の初代市長に就任し、2021年まで旧市から通算7期26年にわたり市政運営を努めた。2023年に旭日中綬章受章。

2005年の市町合併以降で初めて前観音寺市長の白川晴司氏と、前香川県知事の濱田恵造氏を名誉市民に選定し、1月31日に開催した合併20周年記念式典で、名誉市民の称号と記章を贈呈しました。名誉市民の顕彰を記念し、佐伯市長と白川氏、濱田氏が、在任中の思い出や観音寺の魅力、子どもの頃の思い出、今後のまちづくりについて語り合いました。

## 名誉市民・市長座談会

前観音寺市長 白川 晴司

前香川県知事

濱田 恵造

観音寺市長

佐伯 明浩

20年後も、このまちに住んで良かったと思えるまちづくりを

陸装置導入のために国に熱心に要望され、四国新幹線実現に向けても先頭に立って尽力されました。濱田前知事も将来を見据えて県政に取り組まれてこれたと思いますが、知事時代、特に印象に残っていることはありますか。

濱田 私が知事に就任した翌年に東日本大震災がありました。3月11

## 合併後初の名誉市民に選出

市長 このたび、観音寺市名誉市民条例に基づき、長年にわたり市の発展に多大な貢献をされたお二人に対して、合併後初となる名誉市民の称号を贈り、1月31日開催の合併20周年記念式典にて顕彰させていただきます。今のお気持ちを聞かせください。

白川 自分の任期中に名誉市民の選定がありました。まさか自分に返ってくるとは。ありがたいことで、今一度身を引き締めて、第三者の立場で市政に協力していきたいと思っています。

濱田 大変名誉なこと、誇りに思います。父と母が生きていたら喜んでくれたでしょう。微力ではありますが、今後も観音寺市のためにお役に立つことができたいと思います。市長 お二人の名誉市民選定は市民の皆さんに喜んでいただけたと思っています。

## 在任中を振り返って

市長 白川前市長は、合併前の旧観音寺市から通算して7期26年、観

音寺市のかじ取りを担ってこれられました。都会と地方ではインフラ整備に差がありますが、白川前市長は市民会館や市役所庁舎、第二運動公園、スマートインターチェンジの整備、学校の統合、企業誘致など、先見性を持って整備をされてきたと思います。

白川 国・県との関係を作り、いろいろな事業をやってきました。それこそ大蔵省（現財務省）時代の濱田前知事にはお世話になりました。懸案事項だった農地問題が解決できたこと、し尿処理場が地元と関係者の協力を得て移転できたことは特にやり甲斐がありました。また、南海トラフ地震を想定して市役所庁舎や学校施設は財政の許す限り、対策を行ってきました。

市長 濱田前知事は3期12年にわたり香川県知事として県政運営に尽力されました。今話題の県立アリーナは、濱田前知事の提案で建設したものです。アリーナの完成で人の流れが変わり、地域が活性化しています。また、高松空港への国際線誘致や航空機が安全に着陸できるよう計器着



観音寺市長 佐伯 明浩 / さえき あきひろ

1960（昭和35）年大野原町生まれ。観音寺商業高等学校（現・観音寺総合高等学校）、専修大学商学部卒業後、衆議院議員秘書、運輸大臣政務秘書官、県議会議員（4期）を経て、2021年11月に観音寺市長に就任。現在2期目。

日の発災時はちょうど県議会本会議中で、大地震が起きたという情報を受け急ぎよ、地震の被害報告と県として必要な支援を講じる旨の発言をしたことを覚えています。在任中は、100年に一度の震災に耐えられるような防災対策をいかに全県挙げて取り組むかに注力しました。また、上水道の統合に向けて、直島町を除く県内全市町を回り説明しました。国・県・市で呼吸を合わせることで初めて歯車が動きます。その三つの輪を意識しながら皆さんの力を借りて一つひとつ実践できたのではないかと思います。

市長 ありがとうございます。お二人とも在任中とお変わりなく生き生きとされていますが、元気の秘訣はありますか。

白川 趣味のバンド活動で好きな歌を歌いながら若い世代と交流したり、ゴルフをしたり、気の合う仲間と週に数回酒宴を設け、わいわい話したりしていることが元気の秘訣でしょうか。

濱田 私は幼い頃に大病をして1年

ほど入院した経験があり、その影響で30代で肝炎になるなど、健康の大切さは痛感しています。健康づくりのためにはまずは歩くこと、そして人との交流です。いろいろな人と話し、笑うことは健康に良いと聞きます。佐伯市長はお会いするといつも笑っておられるので見習いたいと思います。

## 市町合併について

市長 本市は、昨年10月11日に市町合併20周年を迎えました。特に白川前市長、合併当時の思い出や苦労されたことなどを教えていただけますか。



**白川** 合併は当初、旧観音寺市と三豊郡の9町で協議をしていましたが、地域性やそれぞれの考え方に違いがあり、難しいことが多かったです。最終的には旧大野原町の平野町長と旧豊浜町の佐伯町長のご協力で1市2町の合併が実現できました。悲喜こもこもありましたが、今思い返すとこれで良かったと思います。

**濱田** 当時、全国には約3200の自治体があり、地域性を含め千差万別で合併を進めるのは大変だったと思います。20年後の2040年ごろにはまた人口問題が厳しい状況に行き着きます。どう対処するか、これは永遠の課題ではないでしょうか。

### 子どものころの思い出

**市長** 私は大野原町の中でも山間部の五郷井関地区で生まれました。子どものころは勉強せず遊び回っていましたが、中学校で柔道に出会い、練習に打ち込みました。観音寺商業高校（現観音寺総合高校）でインターハイに出場しましたが、人間は何か一つ秀でたものがあると自信につながる実感した子ども時代でした。お2人の子どもの時代の思い出をお聞

かせください。

**白川** 濱田前知事とは実家が近所で、当時の観音寺は風情があつてにぎやかでした。料亭が5軒あり、芸者さんも50人ほどいたと思います。商店街は今でいうデパートのような場所、いろいろな店がそろっており、常に人が行き交っていました。映画館が数軒あり、夜遅くまで上映していたので、私の父が営んでいた菓子店や濱田前知事のご実家の花店など、周辺の店も午後10時、11時まで営業していました。私はもう一度昔の観音寺を取り戻したいという思いで、在任中にさまざまな取り組みをしてきました。佐伯市長には、ぜひ昔の風情あるまちづくりをお願いしたいです。

**濱田** 私も柳町の「土曜デー（土曜夜市）」のにぎわいなどを思い出しますね。また、東京に行って、つくづく観音寺の太鼓台（ちょうさ）の素晴らしさに気付きました。まさに天下の奇観とも言えるのではないのでしょうか。京都や岐阜・高山の山車とも愛媛の新居浜や西条の太鼓台とも違う。絢爛豪華で芸術的な観音寺の太鼓台は他に類をみないものだと

致と見なせばいいと思います。将来の観音寺のために必要な企業を誘致するという視点で捉えれば、理解は進んでいくのではないのでしょうか。子どもを対象にした要素を施設に取り入れるなどいろいろなアイデアを聞き、吸収していけば良いと思います。市内はスーパーなどの店舗建設が続いていますが、企業は市場調査した上で誘致しているので、それだけポテンシャルがあるまちだと見なされているということです。

**濱田** 観音寺市は四国の中心にあるので、地理的要素をどんどん生かしていければ良いですね。新道の駅は、観音寺というまちが持つ風情や地域の特色を持ったものにすれば、ショッピング目的だけでなく、人が来てくれるのではないのでしょうか。ただ、人口問題は本当に難しい課題ですね。地方で人を呼び込むアイデアは活発ですが、実情は人の取り合いになっている面があり、全体の人口が増加しているわけではないのですから。

**白川** 人口減少は国が責任を持って対策していかないと地方でいくら頑張っても効果は薄いと思いますね。

2045年には観音寺市の人口は約4万2千人という試算ですが、されど4万2千人いるまちなのです。住民が満足し、観音寺に住んで良かったと思えるまちづくりをすることは可能です。人口が減っても、それなりのサービスが提供できるまちであれば良いのです。江戸時代、城下町以外で人口が1万人を超えていたのは観音寺だけという資料もあります。ポテンシャルがあるまちなのです。第一次産業を大事にし、企業誘致を進め、沿岸を工業団地にする取り組みをぜひやっていただきたいです。

**濱田** 『青春デンデケデケデケ』という観音寺市を舞台にした芦原すなおさんの小説がありますが、素晴らしいですね。小説や映画、アニメなど、文化を宝にしていけば、外から来る人だけでなく、住んでいる人が「ここは良いところだ」と感じられるようになっていくのではないかと思います。

**市長** 観音寺市らしさ、地域の利点を生かしながら、これからも前向きにまちづくりを進めていきたいと思っています。本日はありがとうございます。

思います。

**市長** 私は高校卒業後、東京で30年近く暮らしており、都会の良さを感じていましたが、帰ってくると故郷の良さを痛感しました。都会、地方、それぞれに良さがあると感じています。

### これからのまちづくりへの期待

**市長** 合併から20年の節目を迎え、次の20年に向けて今後も全力を尽くしていきたいと思いますが、第3期観音寺市人口ビジョンによると、20年後の2045年には本市の人口は42300人ほどに減少し、4割が65歳以上になると見込まれています。本市が直面する人口減少・少子高齢化社会において深刻化するさまざまな問題にしっかりと立ち向かい、国や県、民間と連携しながら地域力を高めていきたいと考えています。この地域の魅力をもっと生かしていきたいと思い、にぎわい創出の起爆剤として公約の一つである新「道の駅」の整備を進めているところです。これからのまちづくりへの期待やご意見をお願いします。

**白川** 新道の駅事業は一つの企業誘







## 観音寺市合併20周年記念式典を開催

# 「未来もずっと、この街で。」思い一つに



1月31日、ハイスタッフホール大ホールで合併20周年記念式典を開催し、国内外の来賓と市民など約700人が出席しました。市の20年の歩みを振り返る映像上映とミッキー新体操クラブのダンスパフォーマンス、大野原龍王太鼓の演奏で開幕。佐伯市長の式辞、大平市議会議長のあいさつの後、合併後初となる名誉市民顕彰があり、前観音寺市長の白川晴司氏と前香川県知事の濱田恵造氏に記章と楯が贈られました。市政功労者表彰では、代表者5人に佐伯市長が表彰状を授与し、功績を称えました。続いて、池田県知事や姉妹都市の滋賀県草津市長、北海道真狩村長など来賓の皆さんから祝辞をいただきました。フィナーレは、観音寺マーチングバンド「Humming Wind」が勇壮な演奏と華やかな演技で会場を盛り上げました。



①香川県 池田知事 ②滋賀県草津市 橋川市長 ③北海道真狩村 岩原村長 ④令和5年度文化勲章受章者で化学者の玉尾皓平さん（観音寺市名誉市民）⑤米国ウィスコンシン州アップルトン市で長年両市のホームステイ交流に尽力するアンナ・ファレルさんとマリークレア・ショードアさん、ジョシュア・ランブレクト市議会議員、観音寺市国際交流協会 小西会長と黒川理事⑥大野原龍王太鼓が『銭形おどろ』などを演奏し、会場が手拍子で一体に ⑦今後の観音寺市の発展を願い、万歳三唱

### 合併20周年記念フォトパネル展



市民の皆さんから応募のあった合併20周年を盛り上げる笑顔の写真をパネルにして、ハイスタッフホールに展示しました。応募写真は、式典パンフレットなどにも掲載しました。

### 市政功労者表彰



市政功労被表彰者 179人  
自治功労代表 勝田 愛子氏  
消防・海防功労代表 豊田 敏計氏  
産業功労代表 河田 正行氏  
民生功労代表 田中 英昭氏  
教育功労代表 大久保 健二氏

### 観音寺市名誉市民顕彰



白川 晴司氏

濱田 恵造氏